

西・中央アフリカにおける 油ヤシ・プランテーション産業拡大に 対応するためのコミュニティ能力強化と 地域プラットフォームの形成

<https://www.grain.org/>



ひろげる助成

1年目

国際会議



コミュニティでの能力強化ワークショップ

ワークショップ参加人数 **76人**

プラットフォーム参加人数 **20人**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する
達成度 **33%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

深刻な気候状況(大規模洪水)に見舞われたが、これ以外に特に困難はなかった。

■ 工夫した点

特になし。



課題

西・中央アフリカにおける大規模油ヤシ・プランテーション産業拡大により現地の土地・森林・生物多様性・食料安全保障が脅かされていること。

目標

1) 参加者のコミュニティと土地・森を守る情報と知識の会得、2) 現地の人々主導の地域プラットフォームの設立、3) コミュニティの人々による情報/教育/訓練用教材の利用。

活動内容と成果

海外企業による油ヤシプランテーションの拡大により自分たちの土地や利用する森林等を持っている中央・西アフリカ諸国のコミュニティのリーダーと人々、それを支える地元・国際NGOのメンバーらが参加し、土地・森林・生物

多様性・食料安全保障を守るための能力・戦略強化ワークショップを開催、76名が参加した。その結果、2017年度はこれらメンバーが参加する“地域プラットフォーム”を設立、15の団体・20名がメンバーとして参加した。地域プラットフォームを通じて、情報交換と共通の戦略に基づいた活動を行っていく。



女性たちによるワークショップ

今後の展望

地域プラットフォームを活性化する。二年目はメンバー間で情報共有を行い、メンバーらが各自の国/地域で能力強化ワークショップを行う。最終年には、これら経験を共有し、地域共通の戦略・活動を作ることを目指す。